

# 個人投資家向けIRセミナー 長期経営戦略・中期経営計画 説明会

2025年3月28日



株式会社 東邦システムサイエンス

<https://www.tss.co.jp/>

証券コード：4333 東京証券取引所 プライム市場

## 目次

1. TSSの歩み

2. TSSの強み（企業価値の源泉）

3. 長期経営戦略「Vision500」（更なる成長戦略）

4. 新中期経営計画2027（マイルストーン）

5. 株主還元

# 1. TSSの歩み

✓ 当社の変遷をご覧ください。（青色点線枠内「コーポレートムービー」）

URL:<https://www.tss.co.jp/ir/tabid/551/Default.aspx>



The screenshot shows the corporate website for Toho System Science (TSS). The top navigation bar includes links for '会社情報', 'ニュースリリース', 'サービス&ソリューション', 'IR情報', 'サステナビリティ', and '採用情報'. Below this, a secondary navigation bar lists various sections, with 'コーポレートムービー' (Corporate Movie) highlighted by a blue dashed circle. The main content area features a large banner with the text '東邦システムサイエンスがわかる！ TSS 5つのポイント' (Understand Toho System Science! TSS 5 points). Below the banner are five icons representing different aspects of TSS: 'TSSのあゆみ' (TSS's Journey), 'TSSのビジネス' (TSS's Business), '数字で見るTSS' (TSS seen through numbers), 'これからのTSS' (TSS from now on), and 'TSSの株主になったら' (If you become a TSS shareholder). The 'TSSのあゆみ' icon is the one highlighted in the original image. Below the banner, there is a section titled 'TSSのあゆみ' with a large image of a building and a blue box containing the text: '真面目に。愚直に。お客様のことを見つめ、考え、歩み続けてきた軌跡をご紹介します。' (Sincerely. Foolishly. We introduce the track of looking for, thinking about, and continuing to walk with our customers.) and a '沿革' (History) button.

## 2. TSSの強み（企業価値の源泉）

# Mission (事業を通じた社会課題解決)

当社は、法人企業様向けのシステムを構築・提供しています

保険会社



銀行



証券会社



当社は、提案～開発、保守までトータルにシステムを提供する**Sier**です



公共機関



通信会社



医療保険



個人年金保険



健康保険



火災保険



自動車保険



ゴルフ保険



インターネットトレード



FX



ビットコイン



インターネットバンキング



投資信託



NISA





クレジット入会審査



クレジット与信審査



ポイント管理



火災共済



医療共済



AII-ジェント



マイナンバー



医療



流通



運輸

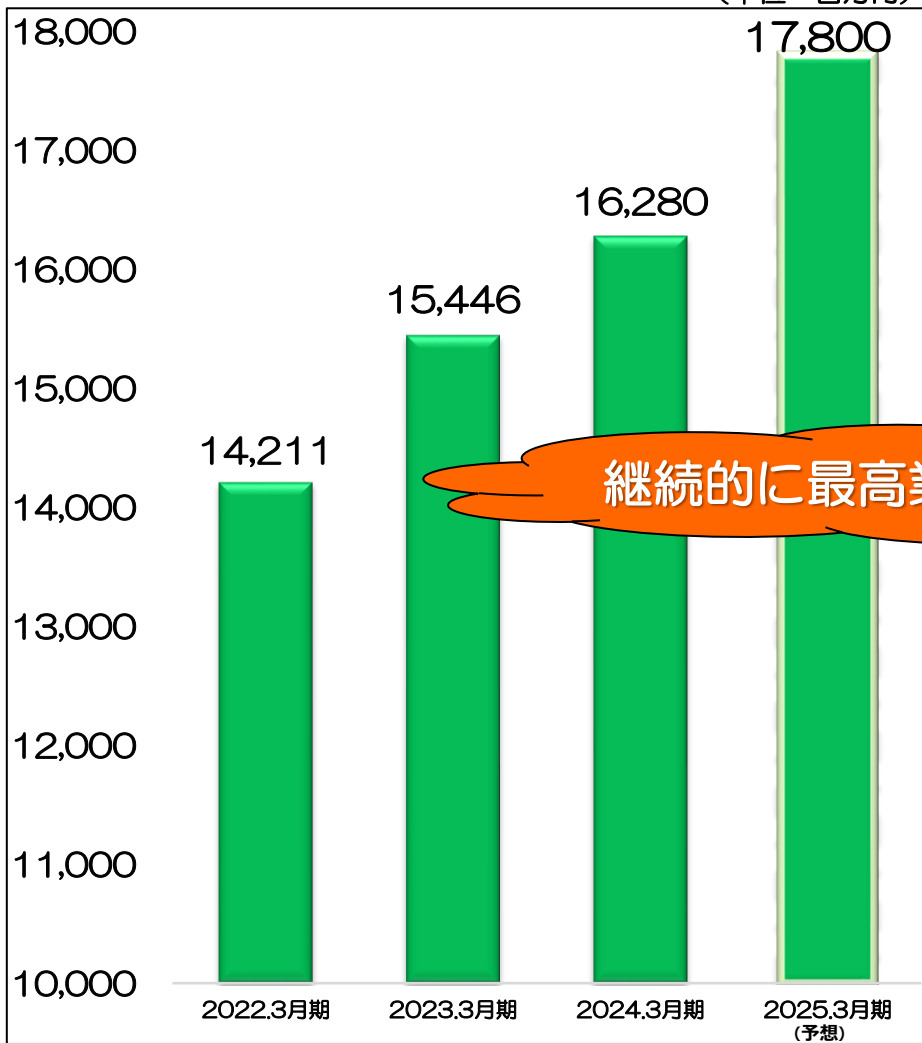


配電管理



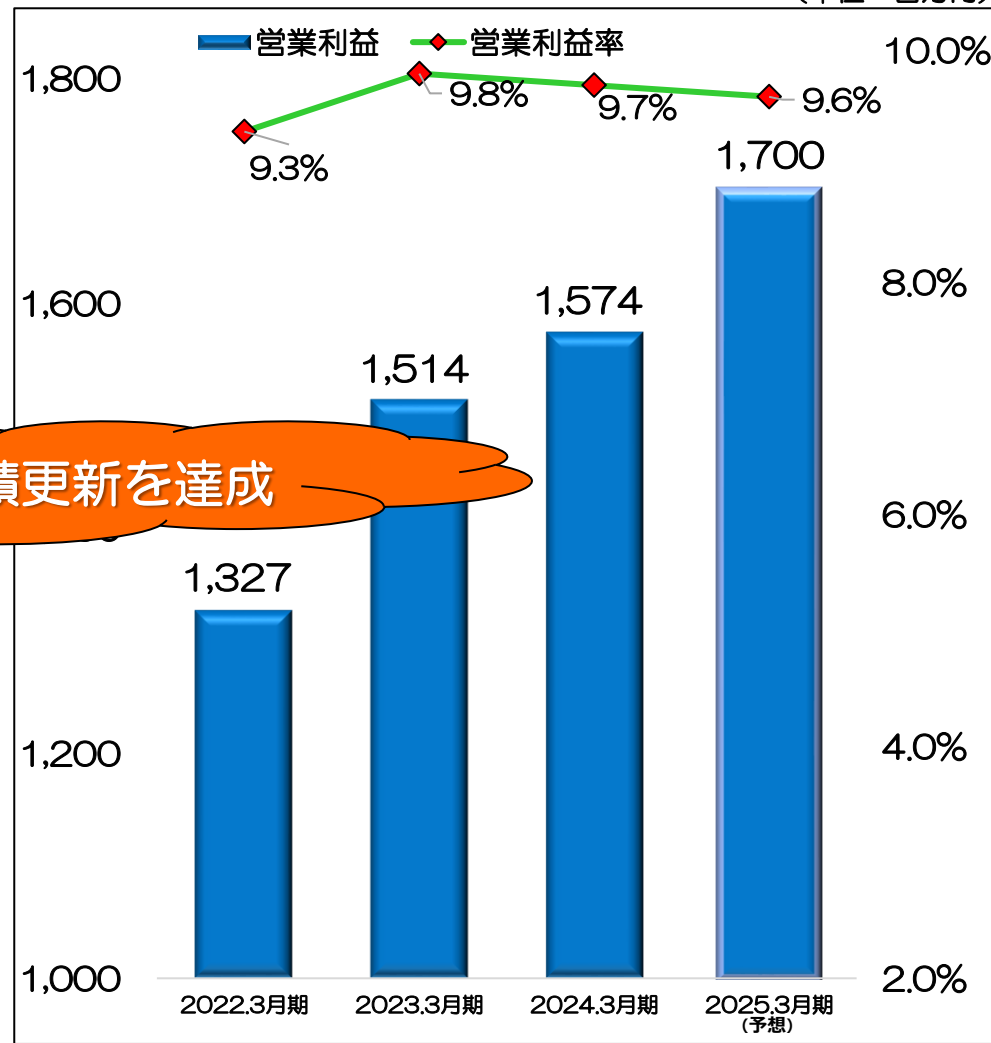
## 売上高の推移

(単位：百万円)



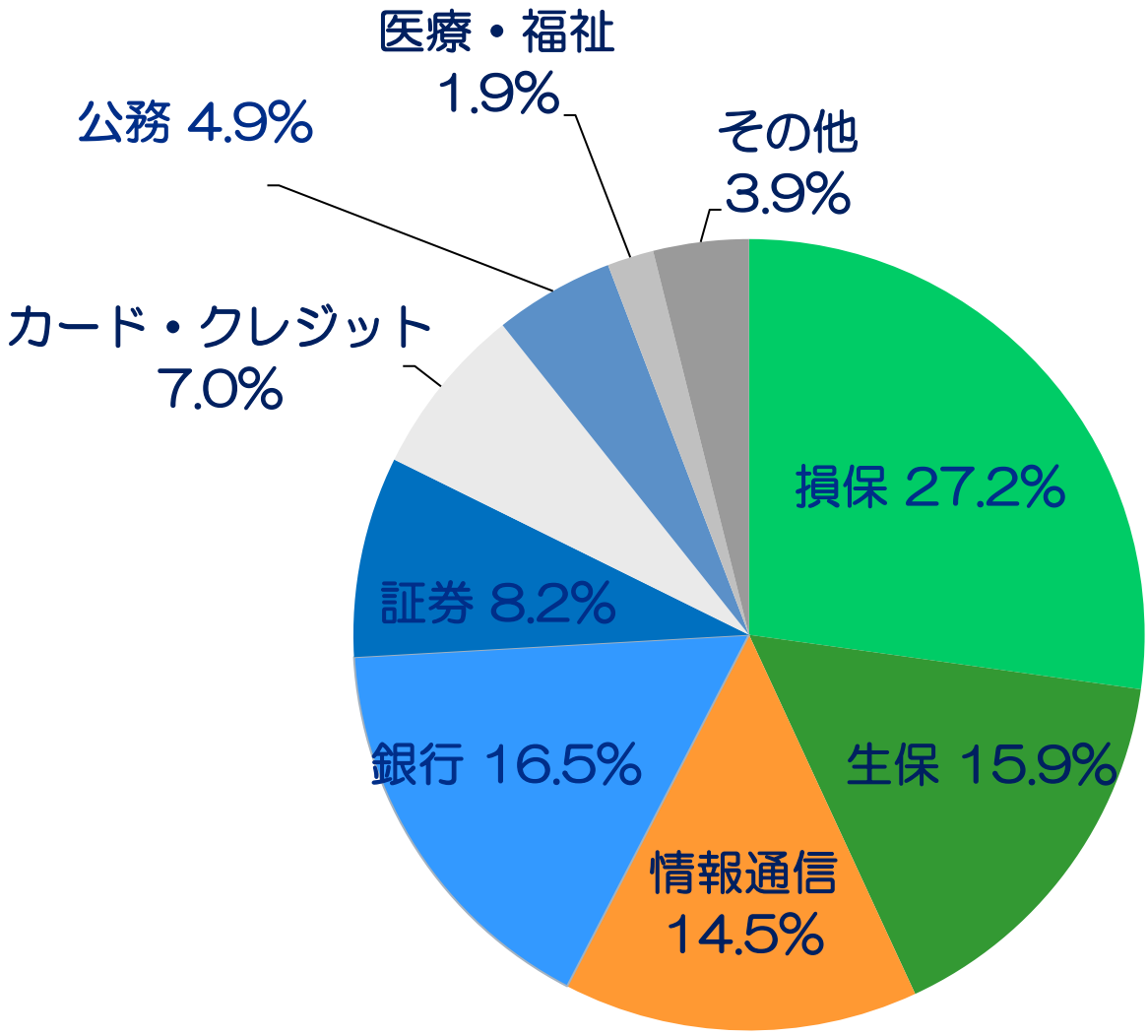
## 営業利益と営業利益率の推移

(単位：百万円)



継続的に最高業績更新を達成

(単位：百万円)



(2024年3月期)

業種	売上高	対前年比
損保	2,627	132.8%
生保	2,518	95.0%
情報通信	2,301	99.7%
銀行	1,307	86.5%
証券	4,317	93.2%
カード・クレジット	1,118	71.7%
公務	300	64.5%
医療・福祉	783	36.2%

## 多数の優良顧客との継続的な取引

### ユーザー



住友生命情報システム (株)

ニッセイ情報テクノロジー (株)

MS&ADシステムズ (株)

東京海上日動火災保険 (株)

三井住友トラスト・システム&サービス (株)

日興システムソリューションズ (株)

### メーカー



日本アイ・ビー・エム (株)

日本電気 (株)

(株) 日立製作所

富士通 (株)

## 主要SIer等とのパートナー契約及び業務提携



(株) 野村総合研究所

SCSK (株)



eパートナー



コア10パートナー

(株) NTTデータ

BIPROGY (株)



ビジネスパートナー



2024年度 ビジネスサポートパートナー

日鉄ソリューションズ (株)

(株) ランドコンピュータ



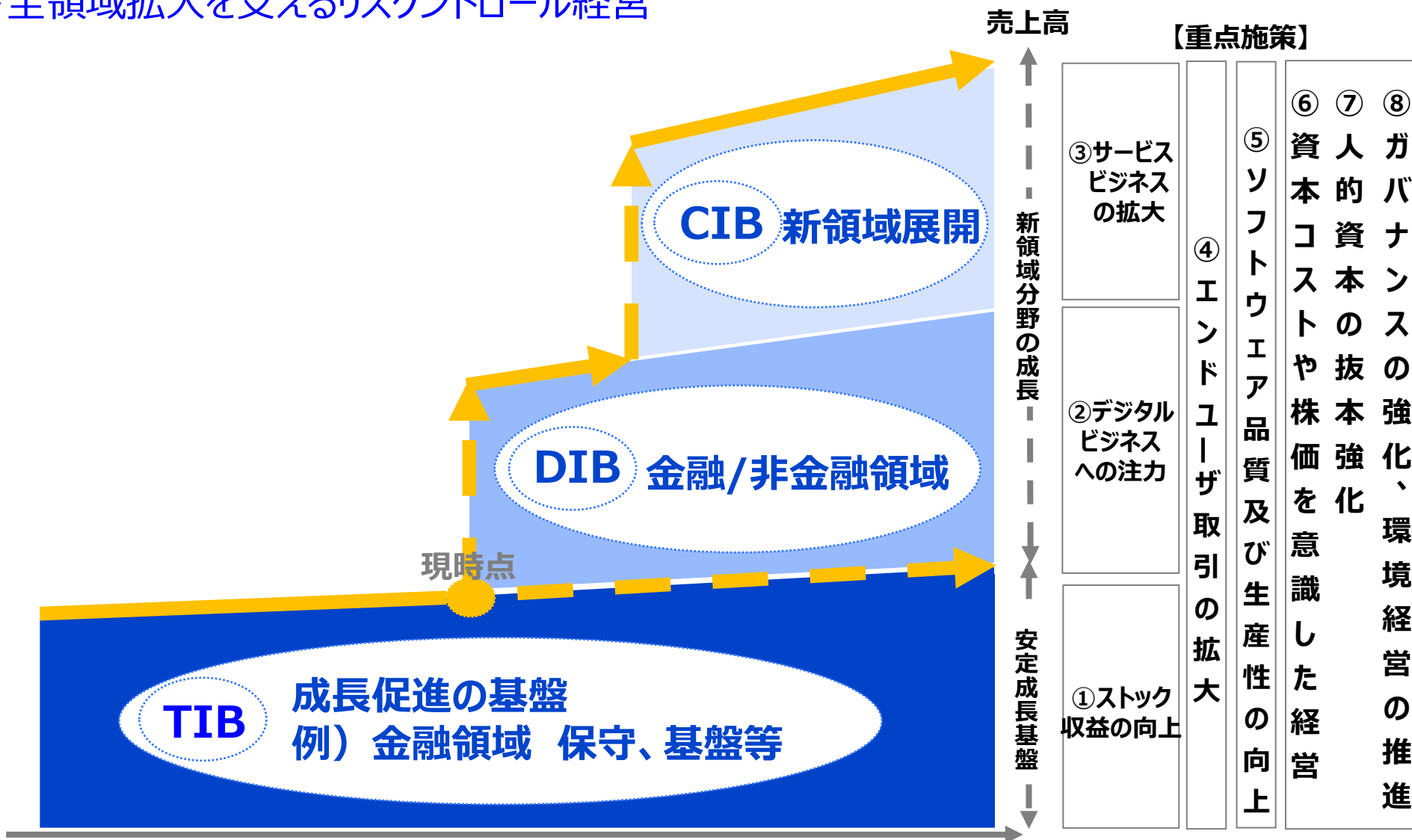
資本業務提携 (2023年12月)



業務提携 (2024年9月)

# リスクコントロール経営（既存強化＋新規拡大）

## ◆全領域拡大を支えるリスクコントロール経営



## 資格取得



### 業務系

434名

- 銀行業務検定協会 (金融経済、財務、税務、証券、保険販売)
- 日本証券業協会 (一種外務員、二種外務員)
- ファイナンシャル・プランニング技能士 等

### 技術系 (情報処理)

831名

- 情報処理技術者資格 (高度、応用、基本)

### 技術系 (ベンダー)

848名

- オラクルマスタ (Platinum、Gold、Silver、Bronze)
- Javaプログラマ (Gold、Silver) 等

## 研修受講



### ヒューマンスキル

- 階層別研修
- 人材育成基礎講座
- トレーナー制度

### マネジメント

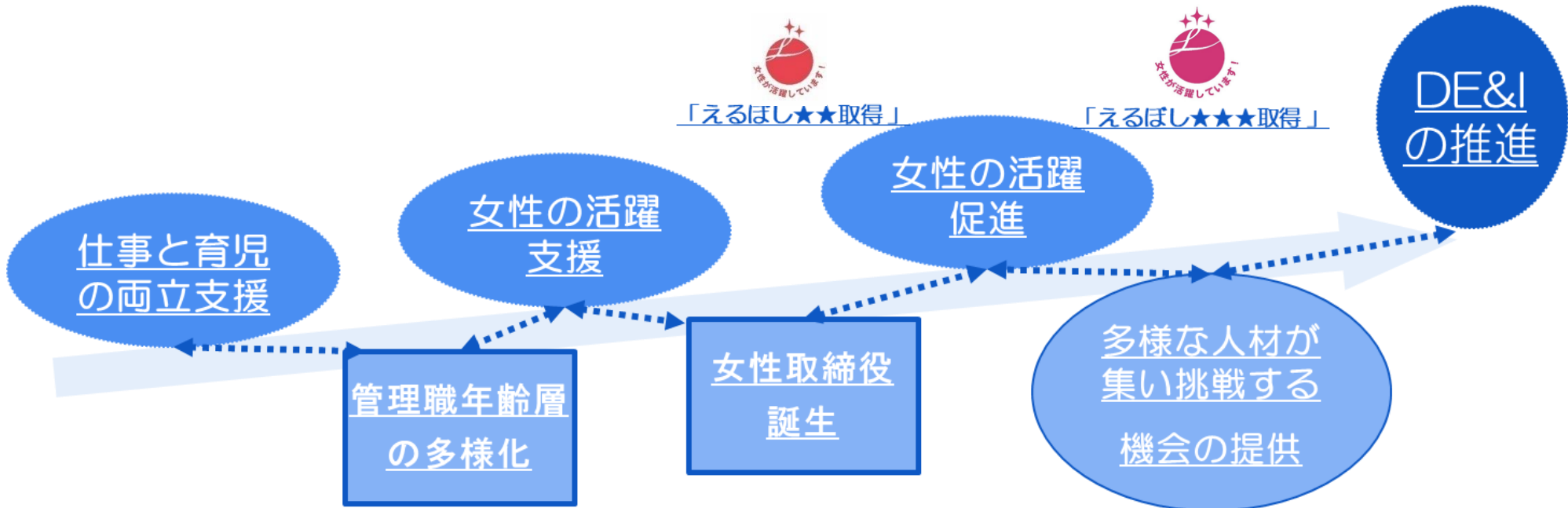
- プロジェクト・リーダー養成講座
- プロジェクト・マネジメント研修
- 管理職研修

✓ 人的資本経営の推進（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進）

多様な人財の育成・確保に向け、次世代管理職の育成及びキャリアエントリー制度等推進。  
 加えて、多様な働き方の整備、従業員の心の健康及び持続的成長等推進。

■ 推進事項（トピックス）

- ✓ 人財戦略と育成 → 女性取締役誕生 / タレントマネジメントシステムの導入 等
- ✓ 相互尊重の文化 → 女性活躍推進企業「える星認定 3つ星★★★」取得





豊かな未来  
社会

安心・安全な  
未来社会

生きがいのある  
未来社会

透明性の高い  
ガバナンス

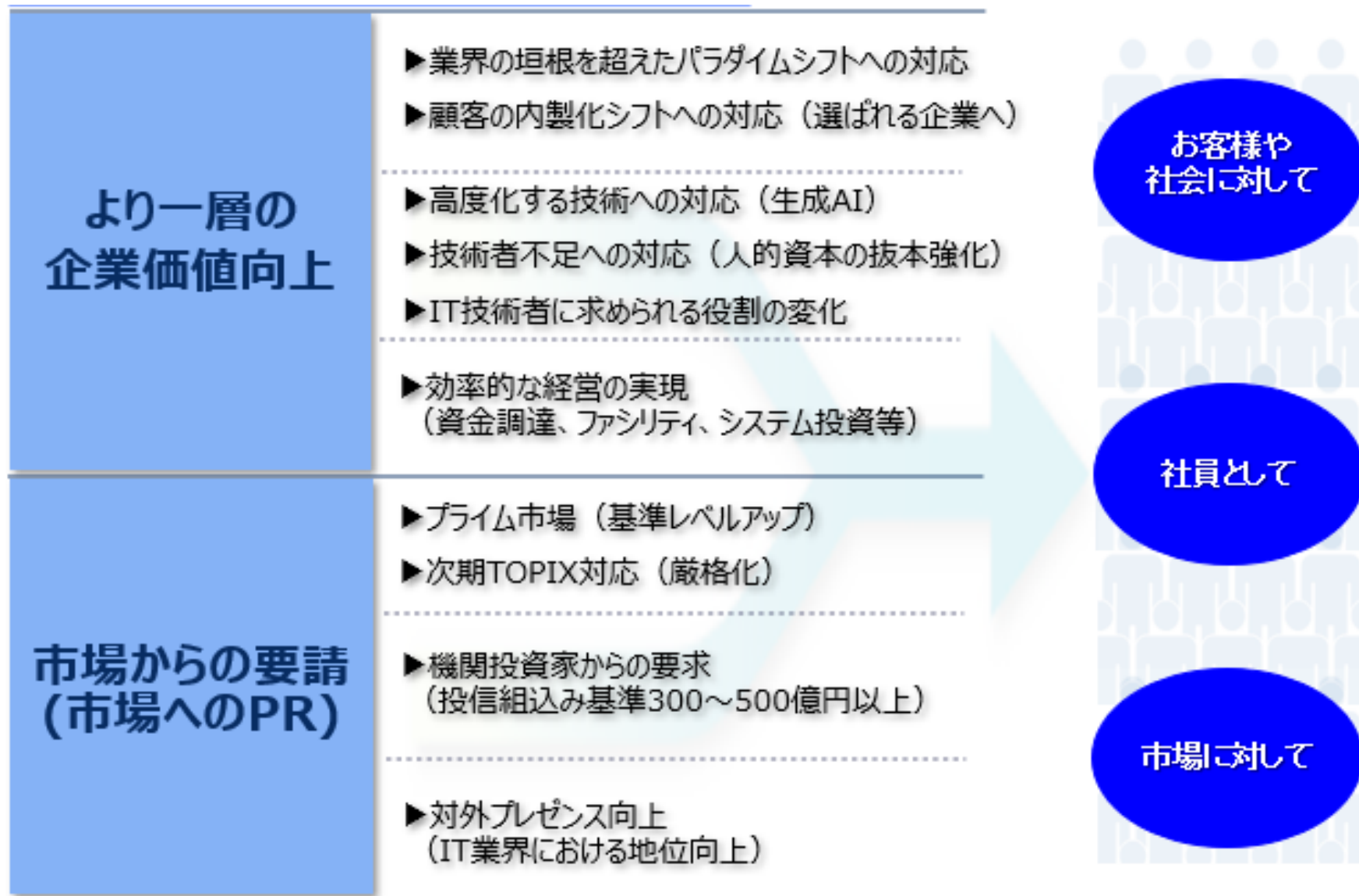
- ✓ 対話の促進 「サステナビリティ評価機関（CDPへの対応）」  
気候変動にかかる回答対応を実施し、高評価スコアの獲得
- ✓ CO<sub>2</sub>削減の実施 「非化石証書の購入」  
2030年度 CO<sub>2</sub>34%削減目標設定 ➡ 前倒しで達成（2023年12月）  
（2050年度までにゼロへ）

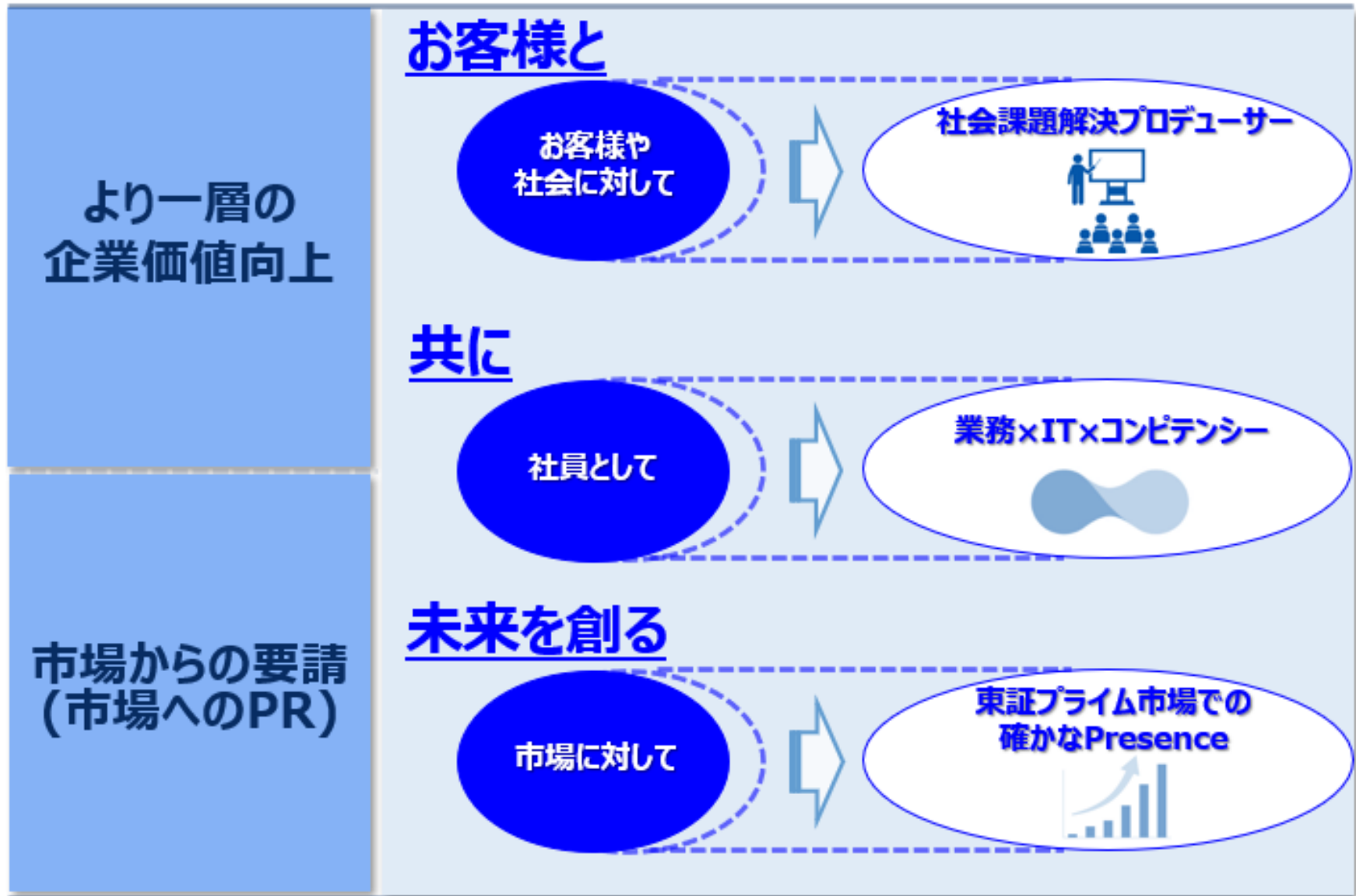
## ■ 推進事項（トピックス）

- ・サステナビリティサイト開設 ・TCFD等非財務情報の開示 / ・人的資本政策の開示
- ・評価機関「CDP」回答：スコアUP「<sup>2024</sup>B」（「<sup>2023</sup>B-」「<sup>2022</sup>C」） / ・CO<sub>2</sub>削減（非化石証書の購入）

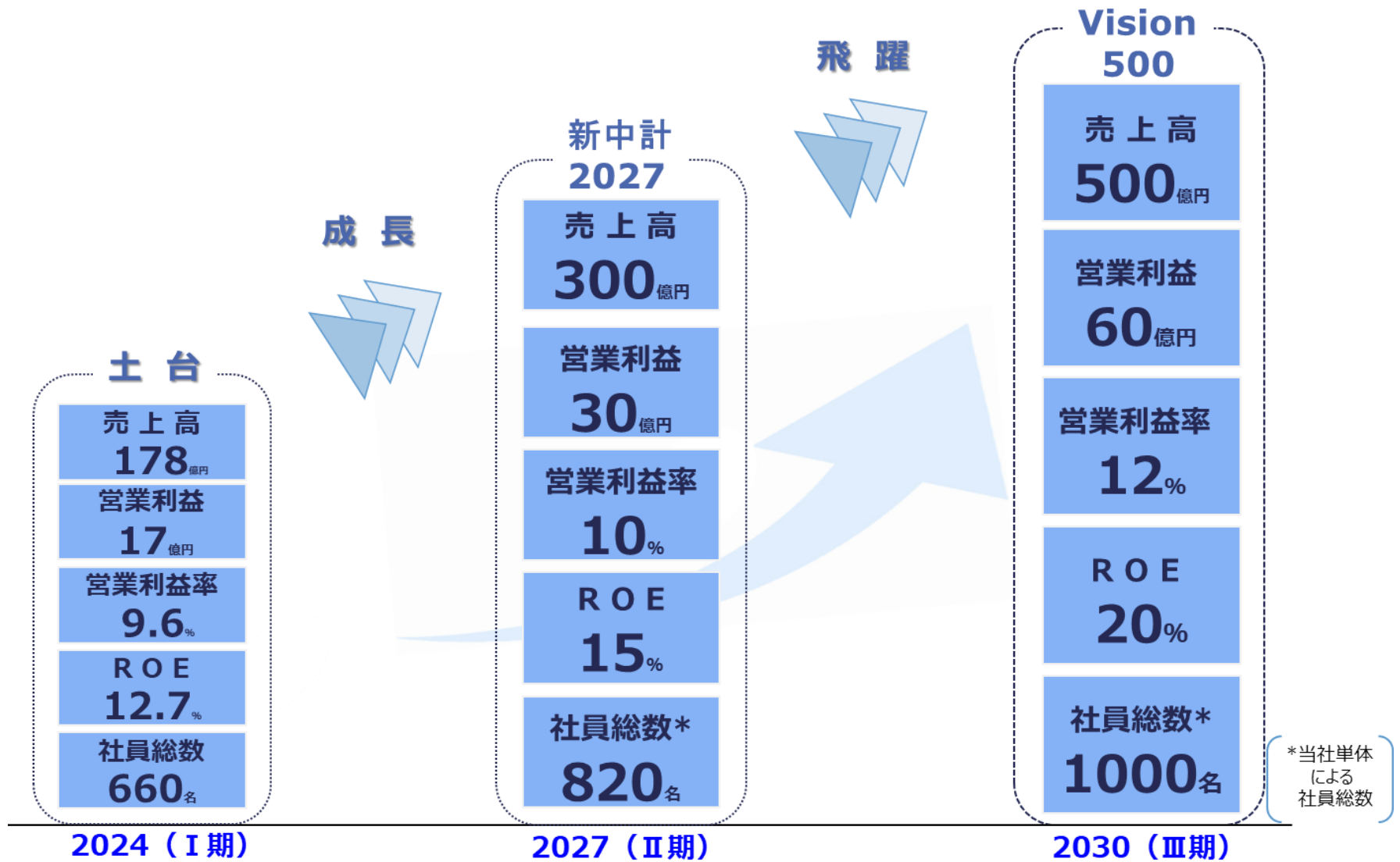
期待価値の創出（企業価値の更なる向上）

### 3. 長期経営戦略「Vision500」 (更なる成長のため)





# Vision500の目指す姿(計数目標)



# 基本方針① 『M&A、業務提携による規模拡大』

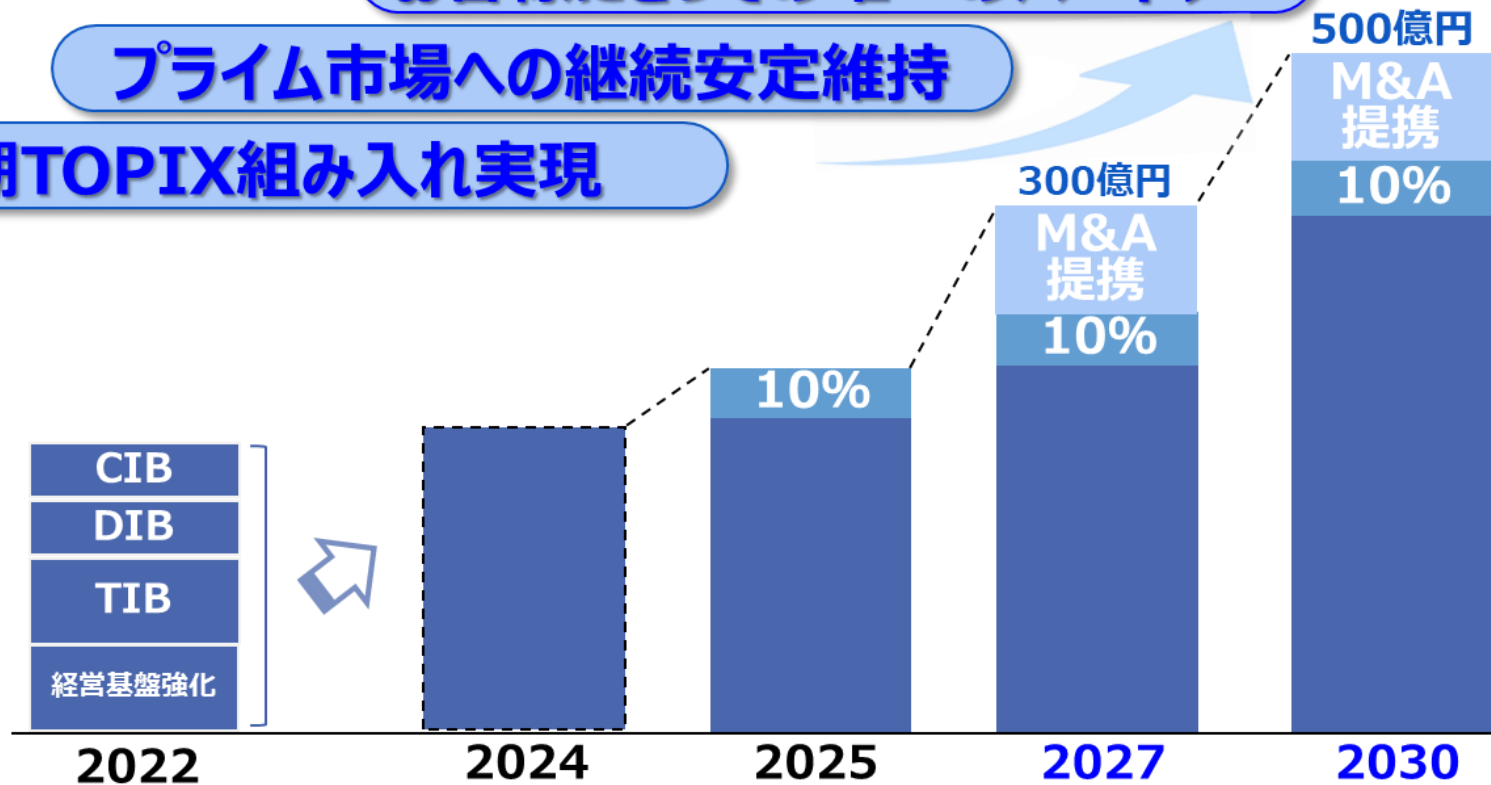
10%成長 + M&A・業務提携 → 売上高500億円

社員のやりがい醸成（誇り）

お客様にとっての唯一のパートナー

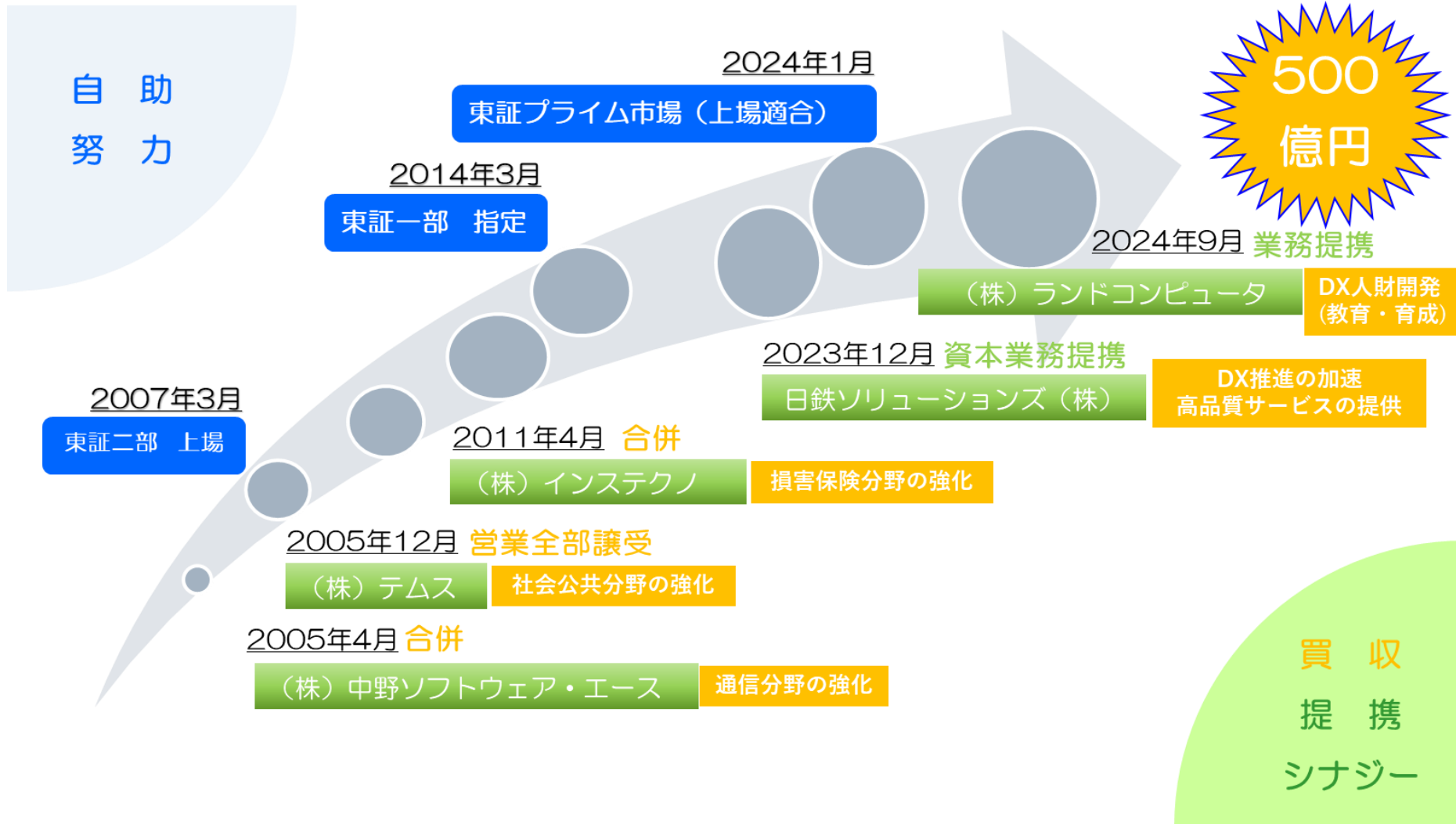
プライム市場への継続安定維持

次期TOPIX組み入れ実現



# 補足)基本方針① 『M&A、業務提携による規模拡大』

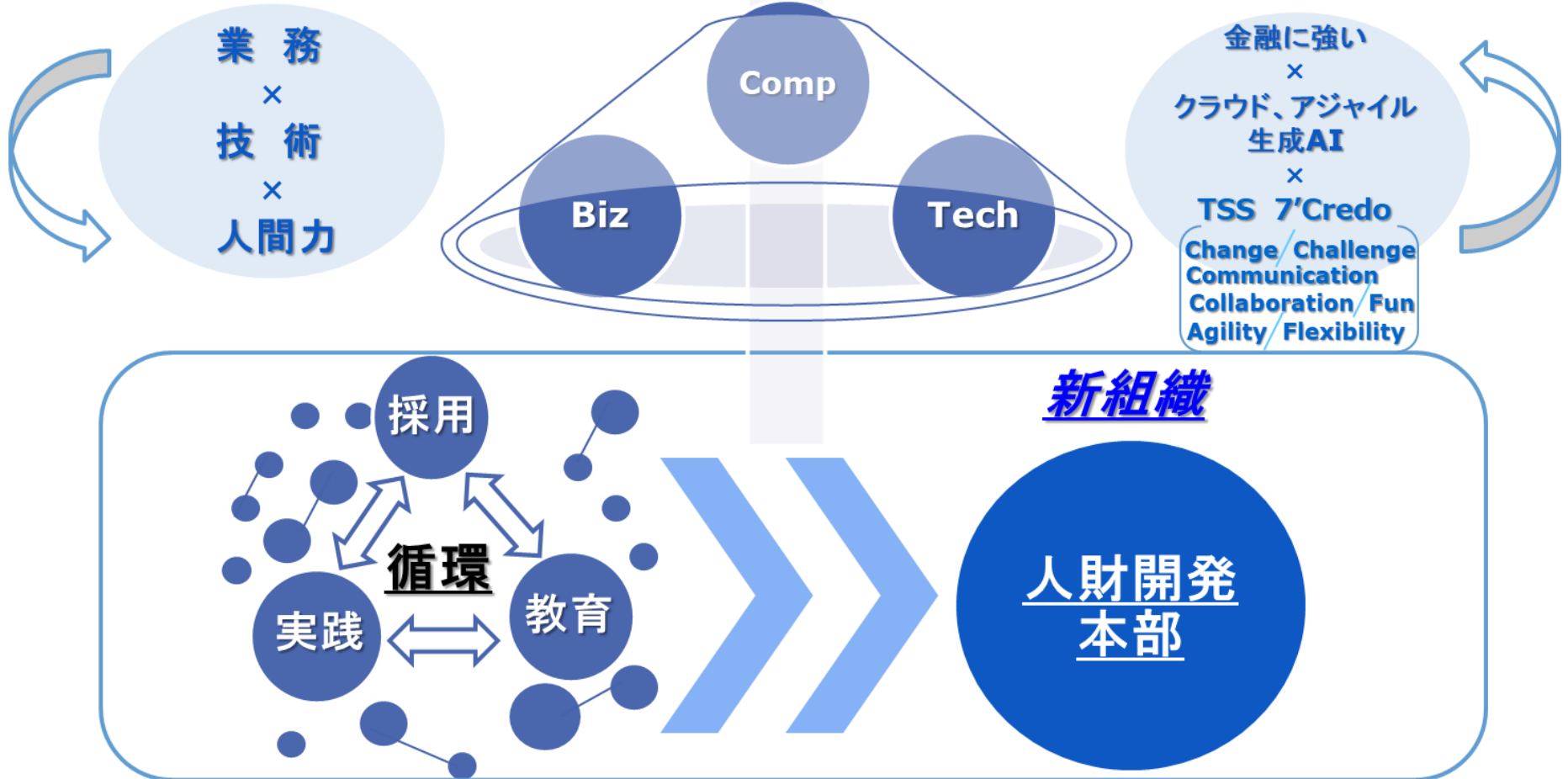
◆積極的なM&Aの推進 企業価値の向上 (次期TOPIX銘柄の組み入れ)



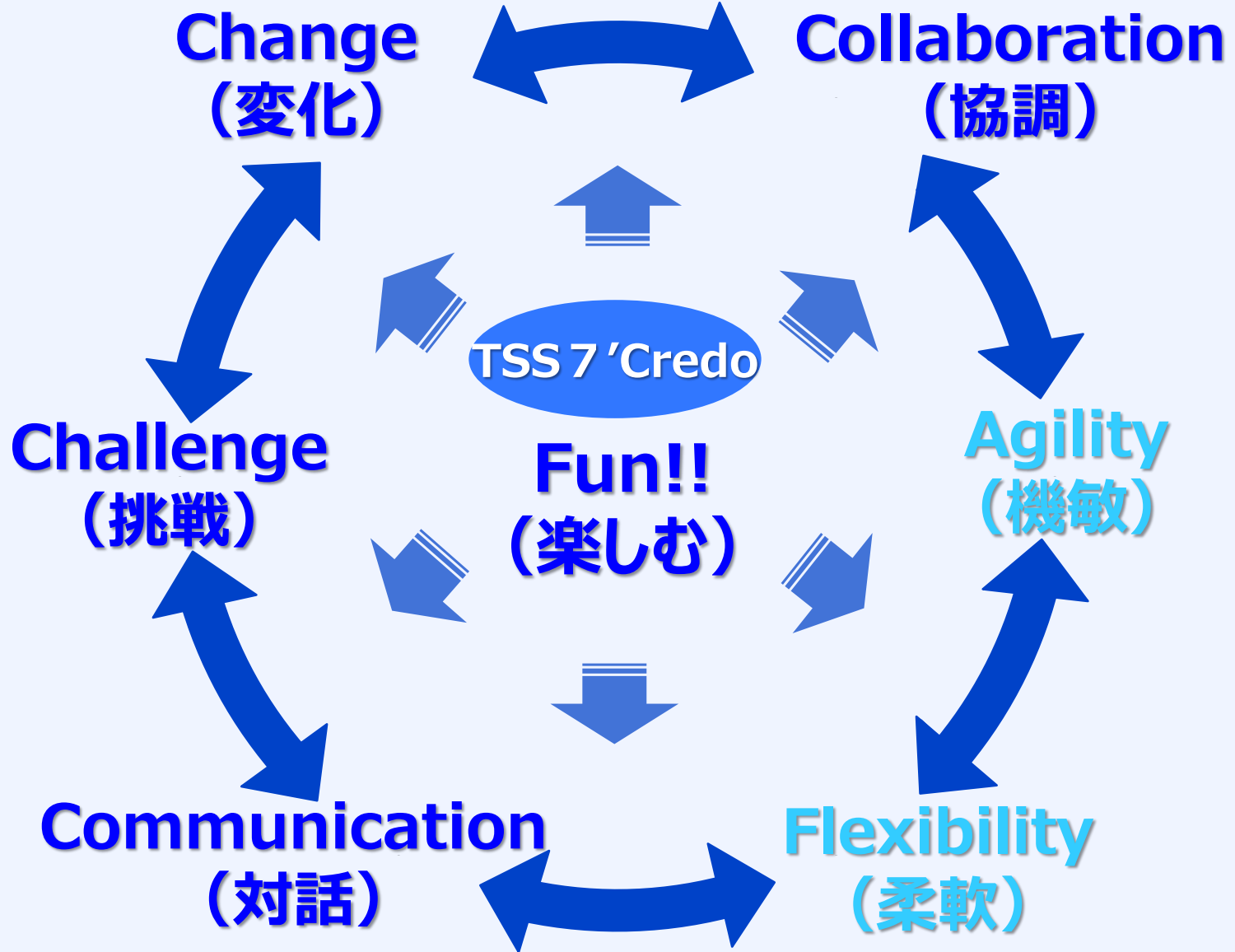
## Biz × Tech × Comp\*

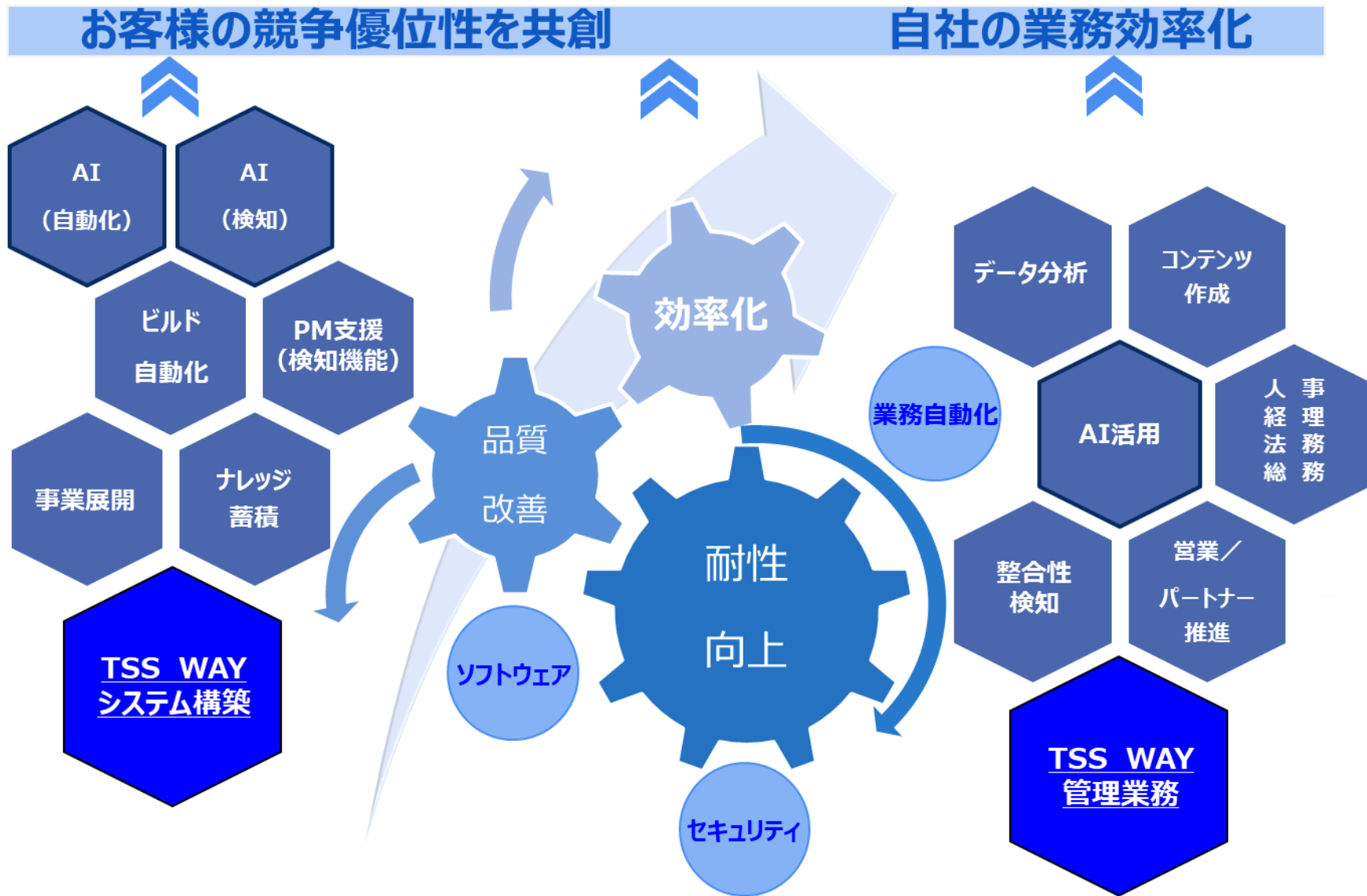
\*Comp=competency

## 教育のTSSの進化

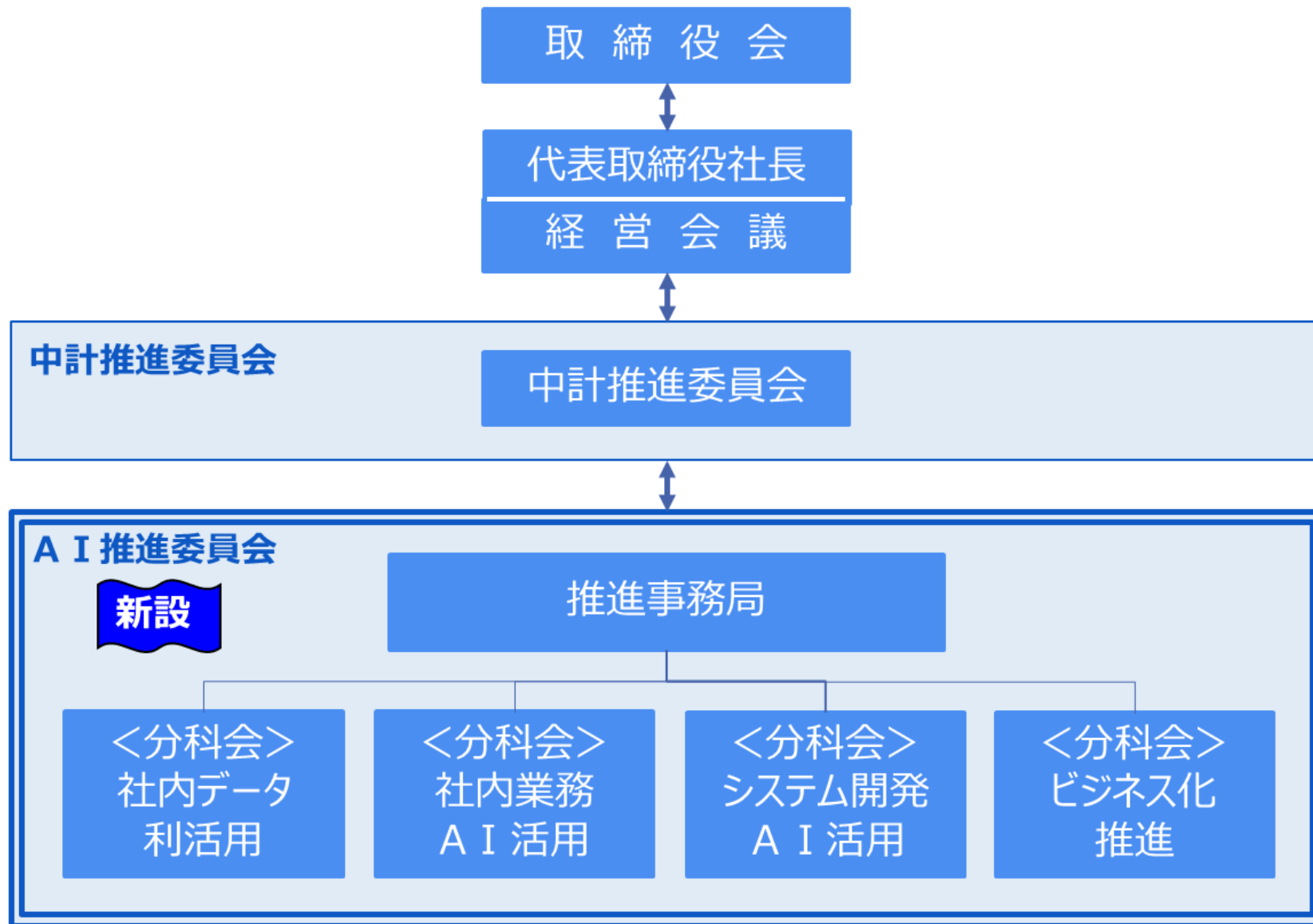








# 補足)基本方針③ 『(新設) AI 推進委員会』



# Vision500を目指す姿(全体イメージ)

**Issue (外部環境の変化)**

社会、経済の情勢を読み解き、課題背景を認識することで、さらなる成長へ繋がる道筋

新たな技術革新 (第四次産業革命)      変化の目まぐるしいDX時代における次世代SEOの資質      次期TOPIXルールの変更に伴う規模拡大

領域非依存のシステム

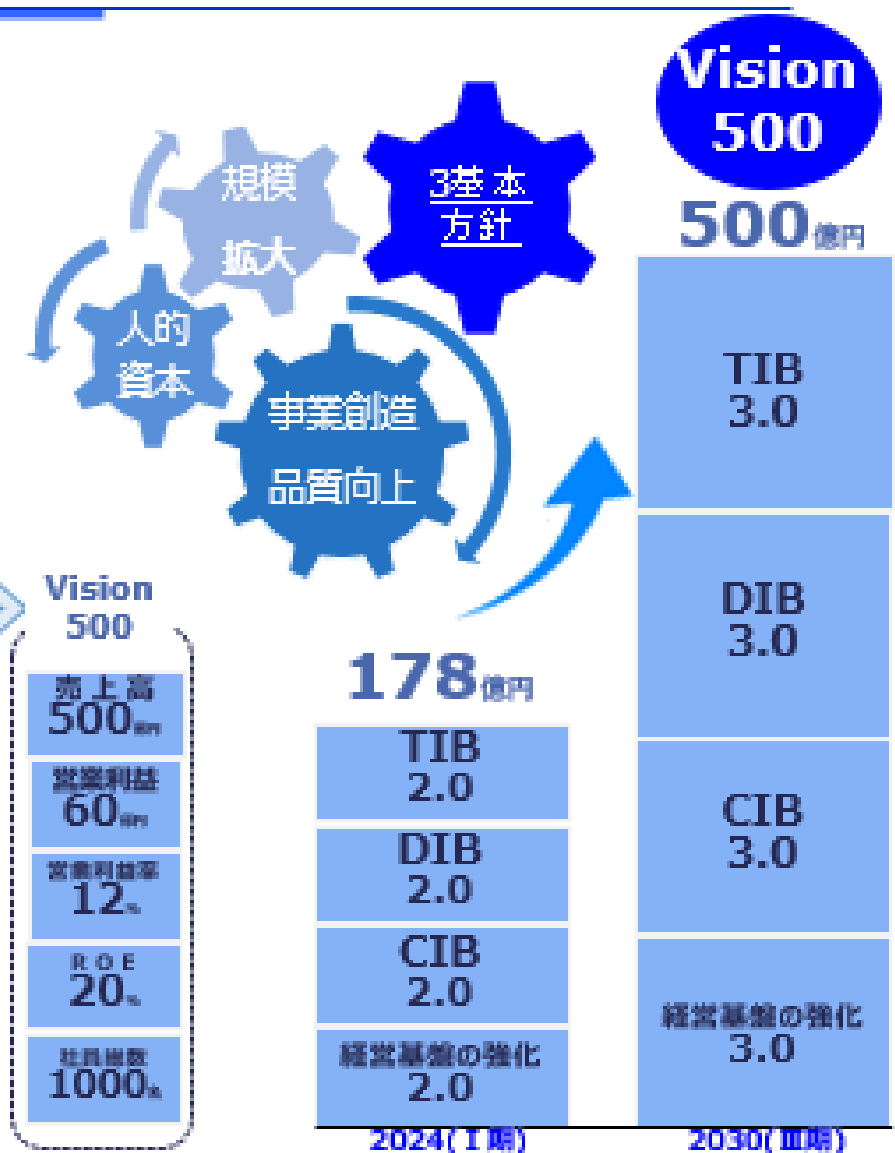
**To-Be (なりたい姿)**

For Client, Employee, and Society

プライム市場でのPresenceを発揮し、売上高500億円を目指す

**不変のスローガン: 「お客様と共に未来を創る」**

- ▶ (お客様や社会に対して) 社会課題解決プロデューサー
- ▶ (社員として) 業務×IT×コンピテンシー
- ▶ (市場に対して) プライム市場での確かなPresence



適正な投資評価基準を策定し、実行することで、最適となる成長投資と株主還元を実現。

➡ステークホルダーへの責務を全うし、企業価値向上を目指す。



## 4. 新中期経営計画2027 (マイルストーン)

# 注力する事項(方向性・取り組み)①

課題項目	方向性	取り組み
<b>1</b> ストック収益の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信、製造及び物流等非金融領域における受注拡大</li> <li>・公共系案件の受注安定化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>非金融の割合30%程度</b>を目指す。</li> <li>・金融/非金融問わず、<b>エンドユーザ向けの保守を狙う。</b></li> <li>・<b>提携先企業との協業</b></li> </ul>
<b>2</b> デジタルビジネスの注力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付加価値の高いDX開発への進出を図る</li> <li>・アプリ開発と基盤の両面で展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DX基盤の要となる「<b>クラウド構築</b>」</li> <li>・DX開発における標準プロセスとも言える「<b>アジャイル開発</b>」</li> <li>・「<b>生成AI</b>」を活用した<b>ビジネス展開</b></li> <li>・<b>デジタル証券他新規ビジネス創出</b></li> </ul>
<b>3</b> サービスビジネスの拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アライアンスの強化・M&amp;Aの進行</li> <li>・国内外のプログラムの調査、研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>提携企業先とのプログラム活用</b></li> <li>・<b>新規サービスの推進</b></li> <li>・<b>国内外プログラムにおける融合ソリューションの開発</b></li> </ul>
<b>4</b> エンドユーザ取引の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エンドユーザとの人的交流(共創視点)</li> <li>・顧客の内製化支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造性を持ち、協業強化へ臨み、<b>直接請負案件数の増大推進。</b></li> <li>・<b>社会課題解決型企业</b>に向け、収益基盤のさらなる拡大。</li> </ul>

# 注力する事項(方向性・取り組み)②

課題項目	方向性	取り組み
<b>5</b> ソフトウェア品質 及び生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・請負開発で品質を担保するための運用の確立</li> <li>・AIの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TSS開発標準 (TSS-Way) による再構築</li> <li>・ソフトウェア開発の自動化推進</li> <li>・デジタル技術活用による社内生産性の向上</li> </ul>
<b>6</b> 資本コストと株価 を意識した経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東証ルール改変に伴う対応</li> <li>・事業規模拡大に伴う時価総額引き上げ</li> <li>・株価向上 (現株価のアウトパフォーマンス)</li> <li>・株主還元施策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略IR(次期TOPIXへの組み入れ)</li> <li>・アライアンス強化及びM&amp;A推進</li> <li>・キャピタルアロケーション策定</li> <li>・株主構成の適正化</li> </ul>
<b>7</b> 人的資本 の抜本強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材開発体制の見直し (育成、採用)</li> <li>・給与引き上げ、賃金体系等見直し</li> <li>・DE&amp;Iの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材開発本部新設 (人材の資質、志向、経験等活用)</li> <li>・人事制度の抜本改革 (やりがい醸成)</li> <li>・女性の割合増加 (管理職、役員)</li> </ul>
<b>8</b> ガバナンス強化 環境経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買収にかかる対話 (検討・協議)</li> <li>・開示における英訳対応</li> <li>・サステナビリティ評価機関(CDP)の対応</li> <li>・サイバーリスクへの課題認識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティビスト動向認識対応体制構築</li> <li>・広報 (対話の促進によるブランディング)</li> <li>・バリューチェーンエンゲージメント</li> <li>・サイバーリスクガバナンス体制構築</li> </ul>



革新

## 【TIB3.0】 トラディショナルITビジネス 3.0

【方針】お客様の大切なソフトウェア資産を高い品質レベルで維持管理

挑戦

## 【DIB3.0】 デジタルITビジネス 3.0

【方針】最新テクノロジーの活用でお客様の課題解決、付加価値向上支援

創造

## 【CIB3.0】 クリエイトITビジネス 3.0

【方針】自分達が生み出すソリューションサービスで企業や社会に貢献

強化

## 経営基盤の強化 3.0

【方針】資本コストと株価を意識した経営、人的資本の抜本強化、ガバナンス高度化、環境経営

スローガン：「お客様と共に未来を創る」

行動指針：「TSS 7'Credo」

## I期「土台形成」成果

(2022 - 2024)

### ◆経営

- ・東証プライム市場  
上場基準「適合」

### ◆事業

- ・DXの拡大
- ・収益機会拡大  
(企業のIT投資拡大  
DX需要等に伴う)

### ◆サステナビリティ

- ・対話の促進
- ・CO<sub>2</sub>削減

## 《注力する事項》

ストック収益の向上

デジタルビジネスへの注力

サービスビジネスの拡大

エンドユーザ取引の拡大

ソフトウェア品質及び生産性の向上

資本コストや株価を意識した経営

人的資本の抜本強化

ガバナンスの強化、環境経営の推進

## 《II期「成長」(2025 - 2027)》

For Client , Employee , and Society

### ◆KPI (業績目標)

売上高 300億

営業利益 30億 / 営業利益率 10%

ROE 15% / 総還元性向 50%

### ●成長変革の軸の融合

T I B3.0

D I B3.0

C I B3.0

経営基盤強化3.0

- ・人財開発
- ・業務効率化推進
- ・リスク  
コントロール経営
- ・ガバナンス高度化

プライム市場でのPresence発揮

→ 売上高 500億円

**Vision  
500**

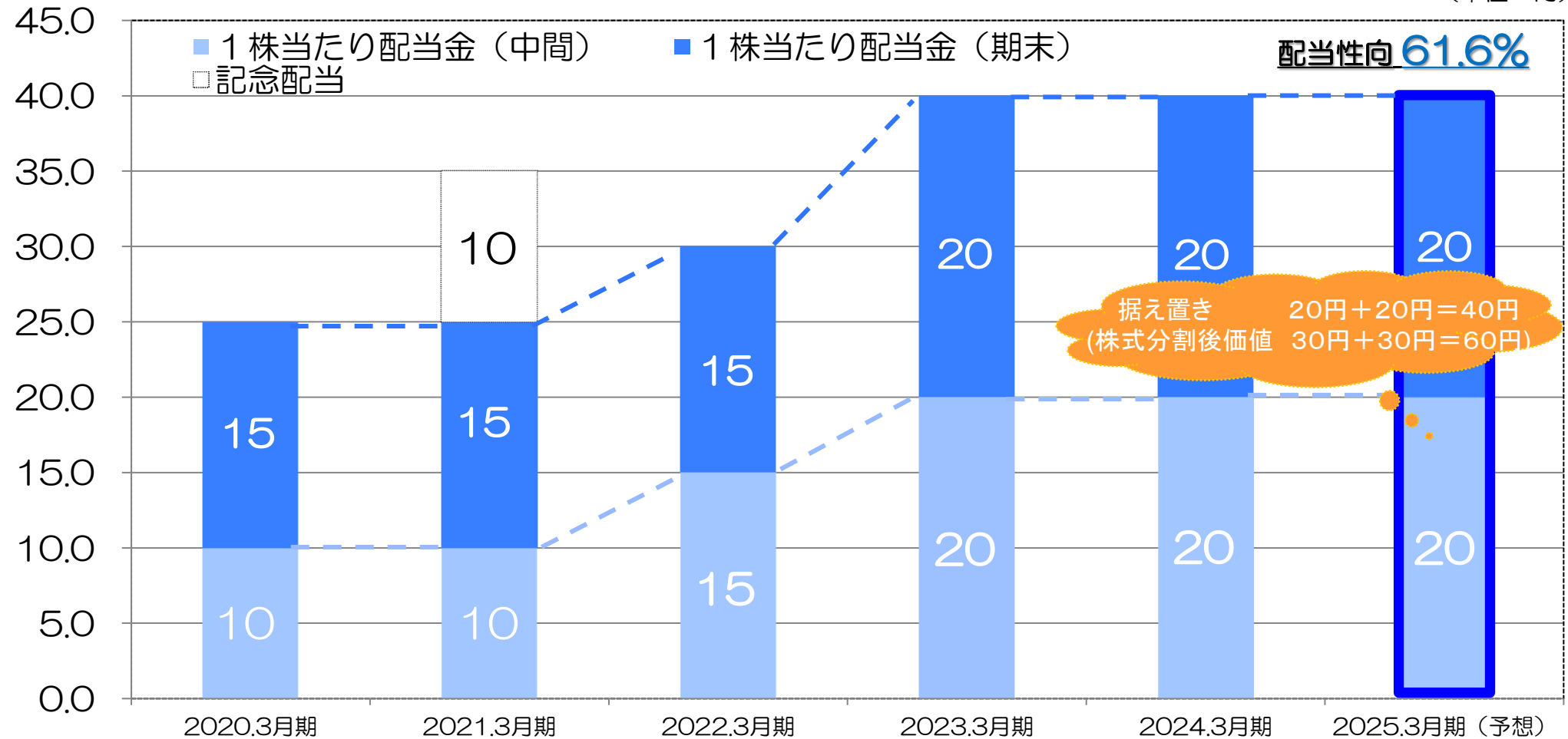
## 5. 株主還元

# 【株主還元(施策)】長期にわたる安定的な配当

## 基本方針

長期安定的な株主還元、事業拡大のための資金確保

(単位：円)



# 【株主還元(戦略)】総還元性向 50%

価値

株主還元

● 配当

▶ 事業成長に基づく還元  
(安定的な実施)

● 自社株買い

▶ 経営環境、資金需要  
に応じた実施

総還元性向  
**50%**

(単位：円)

◆ 資本政策

自己株TOB

継続的な還元戦略の検討

◆ 資本政策効果

株式分割

実質的な増配

株主優待 拡充

1,440  
(年初来高値)

1,345

1,264

1,128

資産価値  
2倍

668

継続的な株主還元施策

2023/1/4  
(大発会)

2023/7/31  
(資本政策リリース)

2023/9/8  
(株式分割後)

2024/1/4 2/29  
(大発会)

2025/1/31 投資



皆様におかれましては、今後ともご支援のほど、  
よろしくお願い申し上げます。

**\* 本資料についてのご留意事項 \***

本資料に記載された見解、見通しならびに予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、当該情報の正確性を保証するものではありません。市場予測に内在する不確定要因及び事業運営における状況変化等により、今後の業績等は本資料の内容と変動する可能性があります。

また、本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご利用者様のご判断において行われますようお願い申し上げます。

なお、本資料における一部の画像の提供元につきましてはPIXTA(ピクスタ)となります。いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようご理解のほどお願い申し上げます。